

貴金属ETF証拠金取引

WEEKLY REPORT

2025/11/17号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド4200ドル台まで急伸の後急落

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



激しい動きが続いています。前々週までの4000ドルを中心とした取引から、前週は一転して大きく上昇、4000ドルで始まったゴールドは、木曜日まではほぼ一本調子で大きく上げ、木曜日のロンドン時間帯には4244ドルまで上昇しました。まるで9月の急騰場面を彷彿とさせる上昇局面となりました。しかしその流れはこの高値から大きく失速、金曜日には4030ドルまでと木曜日の高値から200ドル以上下げ、最終的な一週間の引けは4080ドル近辺となりほとんど行ってこいの相場になりましたが、それでも週初からは80ドル上がったことになります。4000ドルを中心としたレンジが続くことを予想していただけにこの上昇は逆に少し驚きました。そういう意味ではふたたびまたそのレンジ3920–4050ドルに近づいて一週間が終わったということで、ふたたびこのレンジに戻るのか、もしくはふたたび来週ここから上昇を開始するのか興味深いところです。まず今週前半の上昇は、長らく続いた米国連邦政府の閉鎖の終わりがほぼ決定的になったこと、そして経済指標が出てくることからの12月の金利下げへの期待が膨らんだことが上げられます。まさにリスクオンの動きで株価とともにメタルの価格も大きく上昇したのでした。木曜日以降の下げの背景は上昇の理由とまったく逆に、ここまで40日間以上続いた米政府閉鎖により、実際に信用できる経済指標が、まだまだ出てくることはなく、データが無い以上FRBは金利を据え置くしかない、という見方が拡がり、それが週前半の買ないと真逆に働いたということが言えるでしょう。週前半に上がった分をほとんど売り戻したと考えることができます。ここからまたしばらくレンジ取引が続くのか、それとも出始める経済指標によっては過敏な反応があるのか、こればかりは相場をみてみないとわかりません。ただふたたび4000ドルを割り込むような展開になるとすればそれはまた長期的にはゴールドを買っておくチャンスだと考えます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

貴金属ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

週前半のシルバーの上げも、金曜日の下げも割合でゴールドをはるかに超える大きなものでした。高値は木曜日の54.38ドル。10月17日につけた54.47ドルへあと0.1ドルまで迫りました。しかしながら、そこからの下げもゴールドを超えた下げとなり、シルバーのボラの高さを表す動きとなりました。ただ需給を考えると下げたら買いたいと思います。



「プラチナの現状」

プラチナはゴールドとシルバーの動きに比べると盛り上がりに欠ける展開でした。1600ドル超えのレベルを維持できるかどうかが今後の課題になりそうです。中国広州先物取引所でプラチナ・パラジウムの先物取引が今月末から開始ということなのでそれも注目したいと思います。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】<http://jbma.net>

【E-mail】info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のブリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで